

## 公共文化ホールにおける活性化に関する研究（その2）

### —公共文化ホールを長期使用するための方策構築に関する研究—

建築計画—施設設計画

正会員 ○ 高橋 里菜<sup>\*1</sup>

正会員 勝又 英明<sup>\*2</sup>

公共文化ホール	活性化	長期使用
劇場法	バリアフリー	維持管理

#### 1. 研究背景と目的

近年、公共文化ホールの現存する多くが、竣工後50年以上経過しており、更新や大規模改修の時期を迎えていく。そのような中で、少子高齢化による利用者の減少、建築設備の老朽化、高齢化によるバリアフリーの必要性、建設・改修予算の削減など公共文化ホールの存立に関する課題は少なくなく、各々のホールの将来性を踏まえ、最適な方針を検討していく必要性が高まっている。

本研究では、既に長期間使用されているホールの存続の指標について方向性を示すことを目的とする。具体的には、建築計画的要因、都市的要因、劇場法的要因視点から分析を行い、それぞれの実態把握を行うことで、活性化に有効な要因の傾向を示す。

#### 2. 研究方法

##### 2.1 研究対象

調査対象は、平成29年度に「平成28年度全国公共文化施設名簿」をもとに、全国の公共文化ホール2371施設に調査を行ったアンケート調査で回答を得た929施設の中から、活性化している、かつ、稼働率の高い17施設を選定し、2018年8月から2019年12月にかけて調査を行った(表1)。

表1 ヒアリング調査施設

施設名	竣工年	客席数	稼働率	活性化の要因	調査日程
施設A	1979年	約1500席	95.1~100%	建築計画的要因・都市的要因・劇場法的要因	2019年8月17日
施設B	1984年	約660席	70.1~75%	都市的要因・劇場法的要因	2018年12月10日
施設C	1988年	約1450席	80.1~85%	劇場法的要因	2018年11月16日
施設D	1989年	約200席	95.1~100%	都市的要因・劇場法的要因	2018年8月9日
施設E	1990年	約900席	90.1~95%	建築計画的要因・都市的要因・劇場法的要因	2019年11月29日
施設F	1993年	約700席	60.1~65%	劇場法的要因	2019年1月9日
施設G	1993年	約800席	95.1~100%	劇場法的要因	2019年8月6日
施設H	1995年	約600席	95.1~100%	劇場法的要因	2018年11月28日
施設I	1996年	約720席	95.1~100%	建築計画的要因・都市的要因・劇場法的要因	2018年10月24日
施設J	1996年	約1500席	80.1~85%	都市的要因・劇場法的要因	2018年11月28日
施設K	1996年	約800席	95.1~100%	劇場法的要因	2019年8月6日
施設L	1998年	約200席	95.1~100%	回答なし	2019年8月17日
施設M	2003年	約250席	90.1~95%	都市的要因	2019年8月7日
施設N	2004年	約300席	95.1~100%	建築計画的要因・都市的要因・劇場法的要因	2019年8月19日
施設O	2008年	約1700席	75.1~80%	建築計画的要因・都市的要因・劇場法的要因	2018年12月21日
施設P	2010年	約730席	95.1~100%	都市的要因	2018年11月10日
施設Q	2012年	約1500席	85.1~90%	回答なし	2019年11月14日

#### 2.2 研究方法

ヒアリング調査によって、実際に活性化している施設の「活性化の要因」について調査を行った。そこで、調査によって明らかになった「活性化の要因」、「今後さらに活性化するための要因」、「活性化を阻害する要因」、「一般論としての活性化の要因」をまとめ、さらに「建築計画的要因」、「都市的要因」、「劇場法的要因」ごとに調査をし、実際に活性化している施設における活性化の要因の実態を把握する(表2)。

表2 ヒアリング調査項目

調査項目	調査内容
A 活性化について (表3)	活性化の要因 今後さらに活性化するには 施設規模 ※ 施設の方針に対する施設規模 裏方の規模 施設の使いやすさ メンテナンスのしやすさ 各所用室用途に応じた空間 わかりやすい動線計画 バリアフリー化 ※
B 建築計画的要因 (表4)	活性化を阻害する要因 一般論として活性化の要因 市民活動の場所がある ※ 目的に依存しない一般利用者の居場所 ※ ロビーエントランスの広さ ※ 新築・改築をした施設のきれいさ 優れた建築デザイン ※ 外部から内部の活動が見える ※ 駐車台数が多い ※
C 都市的要因 (表5)	交通の便が良い 周辺に公園がある 周辺に坂道が少ない 周辺の人通りが多い 周辺に類似施設がない
D 劇場法的要因 (表6)	周辺の人口が多い 地域に若者が多い 地域に高齢者が多い 人が入りやすいサイン誘導がある 民間企業との連携 運営方針の明確化 館長や職員が積極的 ※ 教育機関との連携 ※ 他の施設団体との連携 専門的な人材の育成 ※ 地域団体との連携 ※ 他の文化施設との連携 ※ 多様な財源の確保 芸術団体との連携 ※ 実演公演の国内外への発信 芸術家・専門家との連携

表4・6では※の項目のみ記載

#### 3. 実際に活性化している施設の活性化について

##### 3.1 実際に活性化している施設の活性化の要因

実際に活性化している施設の要因についての主な意見を以下にまとめた(表3)。

###### (1) 建築計画的要因

- 施設規模が適切で、お客様との距離が近い。
- 運営方針や地域特性を考慮した建築計画である。

###### (2) 都市的要因

- 駅から近く、交通の便が良い(電車、車、バス等)。
- 周辺の類似施設間で、うまく住み分けができている。

### (3) 劇場法的要因

- ・自主事業を頻繁に行うなど、稼働率が高いことで施設を利用する機会が多い。
- ・地域団体や教育団体などと連携を行うことで事業の質が向上している。

## 3.2 今後さらに活性化するための要因

今後さらに活性化するための要因についての主な意見を以下にまとめた(表3)。

### (1) 建築計画的要因

- ・定期的な設備・機能の更新、定期的な保守点検を行う。
- ・バリアフリー化やユニバーサルデザインへの対応。

### (2) 都市的要因

- ・その施設だけでなく、街全体の活性化につながる事業や計画を開発する。
- ・駐車場を施設規模や公演に対して適切な大きさにする。
- ・若中年層の取り込み(利用者の多くが高齢者のため)。

### (3) 劇場法的要因

- ・教育、地域、芸術団体との連携事業により、自主事業の質の向上を図り、利用者の幅を広げる。
- ・ニーズの変化への対応や、HPなどの広報活動を強化。

## 3.3 活性化を阻害する要因

活性化を阻害する要因についての主な意見を以下にまとめた(表3)。

### (1) 建築計画的要因

- ・築年数が多く、老朽化によって利便性が悪い。
- ・バリアフリー化が行き届いておらず、利便性が悪い。

### (2) 都市的要因

- ・地域特性に合わない立地、交通の便が悪い。

表3 ヒアリング調査結果(活性化について)

施設名	活性化の要因	今後さらに活性化するには	活性化を阻害する要因	一般論として活性化の要因
施設A	育成(週1回、子供の弦楽器練習会の補助、約200人の中学生のジャズ指導—コンサート開催)を行っている。	・今まですることを継続していくが、今後具体的に何をするのかは難しい。 ・ハーネス(建設的)というう前に、まずはフロア(劇場運営や運営、その他の様々な)でどうにかなければ」という問題が立ちあがだ。	・設問はほとんど当てはまらない。 ・行動を起こさないでも、お金がない。	・人気集客でやってくる(自然と、目的がなくても)施設であることが重要。 ・講堂以外の日にはぼんが来ない現状。 ・ホールを利用されないと、他の施設も利用されない。
施設B	駅が近く、移動率が高い。 ・自主事業を行っている。	・関心の無い人が、施設の存続が地域の誇りとなるように。 ・施設の活性化ではなくその地域の活性化に貢献できるか。	・改修などで一時的に閉鎖してしまうのはマイナス。 ・高齢者が多いと、待合室が長い。 ・地区人口減少問題、自主事業は必要。自主の質が高まれば貸賃事業も高まる。	・古い施設を残すための改修。 ・若者のエネルギーは必要。
施設C	駅30分ほど、立地がいい。	・財政状況を勘案しながら定期的な保守点検と計画的な改修を実施し施設を快適に使用できるようにしていく。	・駅年数が多い。	・若者層の利用者が多い。
施設D	・自主事業を抱高辺の地域だけでなく市と連携した事業を行っている。 ・運営は市民の実行委員会と行っている。	・特になし。	・駅から遠い。 ・離島率が高い。	・駅から近い。 ・離島率が高い。
施設E	・種類が多くてそこそこ若年層の利用が多いことは活性化の要因ではなく結果。 ・B1のバーコーナンジ店舗では平日、土日でかかわらず、一定の利用者が活用している。	・共有スペース(ロビーやエントランス)を活用し、使いこなすための仕組みを作る ことが、目的に依存しない場所づくりにつながる。	・設問は全部当てはまる。 ・仕掛けがあることで活性化するが、もどろきではまる。	・設問はほとんど当てはまらない。
施設F	・地域と連携してワイルドを充実に活用したイベント活動を行っている。 ・地域のアーティストと連携してアクトリーチ事業に取り組み、公演等の活動を音楽とすることで活動を認知して、劇場まで足を運ぶを賣りやすくしていく。	・入り口が明瞭であったり、デザインに高級感が過ぎているので、誰もがホールとわかるデザインにしてほしい。 ・今以上の地域の人々と距離を縮め、参加型事業などを増やしていく。	・建物の動線計画が分かりにくい。 ・駅からホールまでの坂道が競争など立地の問題。	・市民の交流の場であること。 ・市民の交流の場であること。 ・市民の交流の場であること。
施設G	・自主事業を行っている。 ・人材育成事業を行っている。	・来場者のニーズに合った自主事業を行う。 ・公共交通機関や駐車場の整備などクセ環境の向上。	・自主事業を行っていない。 ・駅から遠い。	・自主事業を行っている。 ・駅が近い。 ・劇場法に基づく活動を行っている。
施設H	・車両で42台の駐車、コインパーキングもおり駐車場が多い。 ・立地として100人以上いるので敷数多く持つホールが他にない。	・用事のない人でもふらっと立ち寄れるような施設づくり。	・老朽化や既存不適格、トイレが和式など設備的な不備。	・施設を支える市民スタッフの存在(運営面にも関わってくれる)。
施設I	・77周年は、近隣の芸大と協力して運営している。小さな子どもライブパフォーマンスなどを行なう。	・健常者だけではなく障害者、外勤などで利用しやすいようとする。	・バリアフリー化や動線計画が良くないなど。	・サンシャインプレイスなどの目的がなくとも立ち寄れる場。 ・自主事業の質を高めたり、実演者との共同制作やWSにきちんと意味や目的、今後にどうつながるかを定める。
施設J	・青少年文化センターは若年層が多い。	・古くは疎疎で、バリアフリー化や動線計画が上手くいっていないので実施する(実際にサンボードの活用をしていました)。	・バリアフリー化していない、駐車スペースがない。 ・地区的あり難さによる立地でない。 ・人財育成事業を行わない。	・目的に沿ったホールを整備。 ・施設の運営をして運営する運営者がいる。 ・市民のニーズを取り入れる。
施設K	・種類が豊富から活性化している(大ホールは年間で63%、多目的ホールは年間で56%)。	・多くのホールや設備など、複数施設であることを見かねて催し物を行うことを積極的。	・利害者が施設を見直します。 ・地元の通勤者、人口減少、過度な高齢化など。	・若者がいなければ施設は華やぐが、高齢者が対象にした事業もどんどんしていくべきである。 ・多目的ホールがあると運営費が増える(ホールのみだと人は集まらない)。
施設L	・市役所、ふるさと館に接続している正門や、交番の便が良い(JR、私鉄、IC)。	・若者のニーズや地域のニーズを捉り、それに合った催し物を行う。	・指定管理者として運営しているが、芸術文化関係が弱く、パウハ不足である。 ・利用料金が安いが、設備が充実しておらず、持ち込んでもらっている。 ・自動販売機がなく、料金が少しある。 ・教育団体などに連携を取り、口座をあげていく。	・半日の午前中にいかに人を集められるか。 ・目的の実現にかかる費用を算出されるような施設、雰囲気を作れる。 ・子ども、子連れの大入、高齢者が共存できる暖まり場となること。
施設M	・施設のきれいさ。 ・専門のコンサートホールでなく、多目的ホールとして用途を限定しない。	・施設の利用者は60~70歳が多くを占めているので、若年層の取り込みの強化。 ・ターゲットを若年層にした、HPやインターネット環境などの広報の強化。	・設問は全部当てはまる。 ・施設の整備さ、ファッショナブルやバッとか見のイメージは重要な人を惹きつけるかに大きく関係する。	・自主事業を行ってることで、そしてこの方向性が確立していることが大切。 ・若者層にはまだあるが、利用が多いことではない。 ・施設が古いからといって、(田舎だと)高齢者が利用するとは限らない。
施設N	・市は最初から芸術文化の横樋ではなかったが、商業施設の空きプロパティに劇場ができる。 ・熊良さんを中心となり芸術会場を立ち上げ、国際演劇祭、演劇とダンスが伸びる専門大学が開く。これらすべての事業に自分が関与している。	・集客数の向上(まず、お客様に今までよりももうかる工夫や、今までの自主事業やアクトリーチなどの新しいやり方で現代の若者のニーズに合ったやり方に変えていく必要があります)。	・設問は全部当てはまる。 ・反対のことが活性化につながる。	・半日の午前中にいかに人を集められるか。 ・目的の実現にかかる費用を算出されるような施設、雰囲気を作れる。 ・子ども、子連れの大入、高齢者が共存できる暖まり場となること。
施設O	・市民の利用者の「営む」という意識が大きく、文化的な土壤として独立ホールのみのスペックが持っていることから稼働率が高い。	・実演、舞台芸術についてもっと若者に知ってもららう工夫や、今までの自主事業やアクトリーチなどの新しいやり方で現代の若者のニーズに合ったやり方に変えていく必要があります。	・PFIが実現した際に、理性的な環境で運営が行えなくなってしまいオフィスが下がってしまうかもしれない。 ・設問を良く知ったスタッフのサポートが必要なので専門スタッフの確保が重要な要素。	・駅が近いといつよりは、地方が駅と駐車場が重要な。 ・広報活動を行っているか。アーティストや、高校生のTwitterの呼びかけなどによく相互通報が行われている。 ・慈の地図としての機能、最高である空気、雰囲気。
施設P	・駅から近い。 ・移動率が高い。	・満車にならないで済む事多々あるので、駐車場の拡張を行なう。 ・年齢層が若い建物であるので、車両が悪く部分の改善。	・駅周辺のさがりだれないでいる。有料駐車場は駅周辺でない。駐車場が近くか、遠くとも安い。 ・駅周辺の建物が高層で、駅周辺が低層である。 ・地域性として、文化振興を行っている。	・慈の地図としての機能、最高である空気、雰囲気。
施設Q	・駅直結のアクセスが貸し館の隣の大きなメリット。	・他機関との連携：現在なんとなく終わっている情報交換一括会議で細かく情報交換、より規模なものに(中心市街地情報交換会、市内公共ホール4館連携会議、MICE連絡会)。	・運営率が低い。駅が近い、他機関との連携を行っていないことは、大きな阻害する要因である。 ・自主事業をそんなに行えていないても、他事業でまかなえる。	・設問はほとんど当てはまる。 ・利用率は、7.3=中高層;若年層。人口流失が多く、市としても食い止めたい。

## 4. 活活性化の要因のまとめ

### 4.1 建築計画的要因

- 建築計画的要因についての主な意見を以下の表にまとめた(表4)。
- 施設の方針や地域特性を考慮した「適切な施設規模」であることが有効である。
  - 「各諸室用途に応じた空間」が多いと維持管理は大変であるが、利用者の選択肢が増え、自主事業の幅も増えるため有効である。
  - 建築年数が多く、老朽化が進む施設に対して「バリアフリー化」は利便性の向上において有効である。
  - 会議室などの小さな諸室から、無料で利用できる広場まで、誰が来ても利用しやすい「市民活動の場所」は有効である。
  - ホール利用時にもロビーが使えて滞在できる場やカフェ、図書館等、運営面を考慮した「目的に依存しない

表4 ヒアリング調査結果(建築計画的要因)

施設名	施設規格	バリアフリー化	市民活動の場	目的に依存しない	ロビーエントランス	建蔽デザイン	外部から内部の活動が見える	駐車台数
施設A	大ホール150席、小ホール350席、和室	非常に多くの場所が使いにくいが、使いやすい間に問題あり。和室トイレしかなかった。	会議室は多く利用されることはできないが、使う人がいる時に手洗い場所がない。展示室では、フリーマーケットなど開催している。	2F喫茶室は飲食していられるわけではないが、使う人がいる時に手洗い場所などはない。展示室では、フリーマーケットなど開催している。	ロビイは、大きなホールは座席であり、利用していないときに場所などはない。展示室では、フリーマーケットなど開催している。	見てみたい人やいる人増えた。来る人も増える。タメも通じて見れば良い人がいる。見る人と見ると活性化が目立つ。	ホワイエ、喫茶室、事務所の様子まで見える。	駐車台数は350席ある。大ホール満席だと、路地歩きが多くなってしまう。警報か連絡されることもある。
施設B	○その通りである。施設の目的に合致しない	○その通りである。施設の目的に合致しない	○その通りである。施設の目的に合致しない	○その通りである。施設の目的に合致しない	○特になし。	特になし。	特になし。	特になし。
施設C	○目的にあたった大きさが大切。	○玄関、サインボードなど。ハンド面で	○あるが活動は十分ではない。運営とセットであります。	○ファミリ的な場所は次の、セントラムで。イベントするにも設備が必要。	○ファミリ的な場所は次の、セントラムで。イベントするにも設備が必要。	○アンドマークがあることはない。デザインとセットで考える。運営を考えた時それにも設備が必要。	○グラス張りでよく見える。運営とセットで見る。	足りていない。50台程度。多い方が良い。約1500床程度に対して1500分から高い。駐車場は重要な位置。
施設D	立地、地域の施設の設置、周辺の人口など。	○その通りである。	○周民が最も多く訪れる場所は重宝。人口が多いと印象が強い。	○その通りである。	○周民が最も多く訪れる場所は重宝。人口が多いと印象が強い。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいというわけではなく、居心地の良さが重要。	あるが施設利用者が優先。料金、輸入の使用の面での駐車場は重要な。
施設E	○ホールがたくさんあり、都合のいいので、各施設で活用化つながるところがいい	○20年前に建設されたので、バリアフリー化は難しい。部屋数が少ないので、小さな会議室が多くて困りました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいというわけではなく、居心地の良さが重要。	駐車台数が少ないのですが、ペストが古い。向かいのバウムアンダード。
施設F	○音楽練習室などは確かに便利だ。	○その通りである。	○会議室が最も多く訪れる場所は重宝される。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいというわけではなく、居心地の良さが重要。	あるが施設利用者が優先。料金、輸入の使用の面での駐車場は重要な。
施設G	○施設内に2000台の駐車場を有する。	○その通りである。	○周辺に見合った施設がある。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいというわけではなく、居心地の良さが重要。	駐車台数が少ないのですが、ペストが古い。向かいのバウムアンダード。
施設H	○人気機種を1200人にしても稼働率は上がるらしい。	○その通りである。	○施設内に見合った施設がある。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいというわけではなく、居心地の良さが重要。	あるが施設利用者が優先。料金、輸入の使用の面での駐車場は重要な。
施設I	○地域に人口に対する施設が重要。各施設ごとに合わせて運営がわかる。何を	○行っているが十分ではない。	○施設内に見合った施設がある。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいというわけではなく、居心地の良さが重要。	あるが施設利用者が優先。料金、輸入の使用の面での駐車場は重要な。
施設J	○350席ほどが適切。ゲートはどこかのカ、コンセプトが重要。	○力を入れている。7THカフェなどオーブンスペースの設置。	○施設内に見合った施設がある。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいというわけではなく、居心地の良さが重要。	あるが施設利用者が優先。料金、輸入の使用の面での駐車場は重要な。
施設K	○周辺の施設は、都心に見合った施設がある。	○施設内に見合った施設がある。	○施設内に見合った施設がある。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいというわけではなく、居心地の良さが重要。	あるが施設利用者が優先。料金、輸入の使用の面での駐車場は重要な。
施設L	○大ホールのキラが満足。周辺を巻き込む施設を創造する場、人が集まる施設の運営が想定される。	○PFIでベット付トイレあり、寝付けやすい。	○施設内に見合った施設がある。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいというわけではなく、居心地の良さが重要。	あるが施設利用者が優先。料金、輸入の使用の面での駐車場は重要な。
施設M	○展示、ホールとともに大きさはちょうど良い。	○施設内に見合った施設がある。	○施設内に見合った施設がある。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいというわけではなく、居心地の良さが重要。	あるが施設利用者が優先。料金、輸入の使用の面での駐車場は重要な。
施設N	○施設設計のうちで適切規模のものを使っている。	○施設設計のうちで適切規模のものを使っている。	○施設内に見合った施設がある。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいというわけではなく、居心地の良さが重要。	あるが施設利用者が優先。料金、輸入の使用の面での駐車場は重要な。
施設O	○その通りである。	○ロビーが広い。	○施設内に見合った施設がある。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいというわけではなく、居心地の良さが重要。	あるが施設利用者が優先。料金、輸入の使用の面での駐車場は重要な。
施設P	○その通りである。	○施設内に見合った施設がある。	○施設内に見合った施設がある。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいといふべきだ。	あるが施設利用者が優先。料金、輸入の使用の面での駐車場は重要な。
施設Q	○その通りである。	○施設内に見合った施設がある。	○施設内に見合った施設がある。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○会議室はあがく、運営を考えていました。ホールは大きいが、運営を考えていました。	○広めの駐車場をどう設ける。	○ガラス張りにすればいいといふべきだ。	あるが施設利用者が優先。料金、輸入の使用の面での駐車場は重要な。

### 4.2 都市的要因

- 都市的要因についての主な意見を以下の表にまとめた(表5)。
- 利用施設の候補に挙がりやすく、かつ、日常的に通いやすい方が利用者の恒常的な滞在を促せるため、地域特性に合った「交通の便が良い」ことは有効である。
  - 「周辺に公園がある」だけではなく、公園と連動した事業や使われ方を展開していくことが重要である。
  - 地域特性により異なるが「施設周辺に坂道が少ない」ことは利用施設の候補に挙がりやすくなる要因の一つであるので、有効である。
  - 「施設周辺の人通りが多い」だけではなく、その人たちをどのようにして施設に引き込むのかが重要である。
  - 「施設周辺に類似施設が少ない」ことは、施設間でホー

一般利用者の居場所」是有効である。

- 「ロビーエントランスが広い」のではなく利用者の規模や使われ方を想定した適切な広さがあると有効である。
- 施設がきれいになると精神面でも使いやすくなり、利用者が増えて活性化するため「新築・改修して施設がきれいである」ことは設備・機能に加えて有効である。
- 「メンテナンスや定期的な保守点検」がしやすいことは、改修を短期で終わらせるために有効である。
- 「建築デザインが優れていること」は、地域のランドマーク的な存在としては有効だが、施設管理面では障害となってしまうこともある。
- 「外部から内部の活動が見える」については、活動自体が外部に見えることもそうだが、地域の人々に施設の活動を認知してもらうことも重要である。
- 施設規模や地域特性を考慮した「駐車場の広さ」が重要である。

表5 ハーリング調査結果(都市的要因)

施設名	次回の便	周辺に駅がある	周辺に駅がない	周辺に駅が多い	周辺に駅が少ないと感じます	周辺の人口が多い	周辺に駅が多い	周辺に駅が多い
施設A ○ 1500円から24kmあります。タクシーでも 体位はバスの歩道歩が多く助けてい る。	運賃から車長して公園が4kmあります。	周辺には駅はない。	公園の駐車場に車を止めると、トイレやロッカーを利用することができます。	△どちらも言えない。住み分けが上手くできるかどうかが重要である。	△どちらも言えない。住み分けが上手くできるかどうかが重要である。	○その通りである。	○地域性に左右される。地域の若者は減り傾向はない。	○人が入りやすいため、若者は少し多い。
施設B ○ 使用料金の相場に準拠するなど。	一括になし。	一括になし。	地主と同様、重要な。	一括になし。	一括になし。	一括になし。	一括になし。	一括になし。
施設C ○ の通りである。	△公園のレベントによる。	△立地と関係、重要な。	その通りである。	△その通りである。	△その通りである。	△重要な。	△重要な。	△重要な。
施設D ○ その通りである。公共交通機関での利 用が多めである。	○重要な。	○その通りである。	その通りである。それに加えて、中で どのような活動を行っているが分かる などと。	△どのような活動を行っているが分かる などと。	△その通りである。	○その通りである。	△運営者の利用者が多い。	○運営者の利用者が多い。
施設E ○ 他の地区で開催してある事で、近隣で分 かりに林野作業があるが、距離で分 別されてしまっている。公園の利用者 あるのかはわからない。	△住み分けは緩やかな気がする。関係が あるのかはわからない。	△住み分けは緩やかな気がする。関係が あるのかはわからない。	△近くに似た施設があれば利用者の取り 合いになると思う。	△近くに似た施設があれば利用者の取り 合いになると思う。	△近くに似た施設があれば利用者の取り 合いになると思う。	△その通りである。	△運営者のみではない。公的機関として、 あくまでより人らしく運営していく方 法が大切。わかりやすい駅構造が好ましい。	△運営者の利用者が多い。
施設F ○ その通りである。ジンボボクターを一 次元で提供。	△地主に運営がある。	△地主に運営がある。	運営の認定と面接場の安全性にはつ まらないが、運営者も多く出る。	△運営の認定と面接場の安全性にはつ まらないが、運営者も多く出る。	△運営の認定の上とアクセスの便利 性が低い。	○その通りである。	△運営者の方が多く入る人の数が多いのであり、コニニコな形態をしてやまない。	△運営を行っているシンシナティ+サイン がある。
施設G ○ 高齢者多く都心や遠方からの客客多 い。	△施設の認定と面接場の安全性にはつ まらないが、運営者も多く出る。	△ホールや駅から徒歩圏内であるが、運 営の認定と面接場の安全性にはつま らないが、運営者も多く出る。	△運営の認定の上とアクセスの便利 性が低い。	△運営の認定の上とアクセスの便利 性が低い。	△運営の認定の上とアクセスの便利 性が低い。	○その通りである。	△運営者の文化、歴史に対する時流に ついては、つながりがない。	△利用する。しないに関わらず、日頃か ら運営を行っているが、運営の目的はそ れでも多くはない。
施設H ○ その通りである。	△一体感がある事。	△運営の認定と面接場の安全性にはつ まらないが、運営者も多く出る。	△運営の認定と面接場の安全性にはつ まらないが、運営者も多く出る。	△運営の認定と面接場の安全性にはつ まらないが、運営者も多く出る。	△運営の認定と面接場の安全性にはつ まらないが、運営者も多く出る。	○その通りである。	△運営者の文化、歴史に対する時流に ついては、つながりがない。	△運営の文化、歴史に対する時流に ついては、つながりがない。
施設I ○ 住む場所は重要な要素。名古屋ではバヨリ ーも下駄靴、高齢者 徒歩10分以内が2ヶ所 ある。	○重要な。	○重要な。	実家は古い。常に劇場にかかる高齢者 のお話を聞く。年々新しいイメージがあり はないのではないか。	○実家は古い。常に劇場にかかる高齢者 のお話を聞く。年々新しいイメージがあり はないのではないか。	○その通りである。交通の便も関係す る。	○その通りである。	△運営の文化、歴史に対する時流に ついては、つながりがない。	△運営の文化、歴史に対する時流に ついては、つながりがない。
施設J ○ その通りである。	△近くに会場の場があると好影響があ るのではないか。	△近くに会場の場があると好影響があ るのではないか。	○運営の便と運営。運営があつても運営化 するのではないか。	△近くに会場の場があると好影響があ るのではないか。	○その通りである。	○その通りである。	△運営の文化、歴史に対する時流に ついては、つながりがない。	△運営の文化、歴史に対する時流に ついては、つながりがない。
施設K ○ 地域に対する愛着がある人々は電車、車 で通勤する。	△運営は一度接してしたり、一度となっ てたりで運営化する。	△運営は一度接してしたり、一度となっ てたりで運営化する。	△運営は一度接してしたり、一度となっ てたりで運営化する。	△運営は一度接してしたり、一度となっ てたりで運営化する。	△運営は多い。多い方が良い。	△運営は多い。多い方が良い。	△母分は大きい方が良い。子供の人口 が大だ。	△母分は大きい方が良い。
施設L ○ 住む場所は重要な要素。名古屋ではバヨリ ーも下駄靴、高齢者 徒歩10分以内が2ヶ所 ある。	○重要な。	○重要な。	実家は古い。常に劇場にかかる高齢者 のお話を聞く。年々新しいイメージがあり はないのではないか。	○実家は古い。常に劇場にかかる高齢者 のお話を聞く。年々新しいイメージがあり はないのではないか。	○その通りである。交通の便も関係す る。	○その通りである。	△母分は大きい方が良い。	△母分は大きい方が良い。
施設M ○ その通りである。	△近くに会場の場があると好影響があ るのではないか。	△近くに会場の場があると好影響があ るのではないか。	○運営の便と運営。運営があつても運営化 するのではないか。	△近くに会場の場があると好影響があ るのではないか。	○その通りである。	○その通りである。	△運営の文化、歴史に対する時流に ついては、つながりがない。	△運営の文化、歴史に対する時流に ついては、つながりがない。
施設N ○ その通りである。	△運営は一度接してしたり、一度となっ てたりで運営化する。	△運営は一度接してしたり、一度となっ てたりで運営化する。	△運営は一度接してしたり、一度となっ てたりで運営化する。	△運営は一度接してしたり、一度となっ てたりで運営化する。	△運営は多い。多い方が良い。	△運営は多い。多い方が良い。	△母分は大きい方が良い。	△母分は大きい方が良い。
施設O ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は多い。多い方が良い。	△運営は多い。多い方が良い。	△母分は大きい方が良い。	△母分は大きい方が良い。
施設P ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は多い。多い方が良い。	△運営は多い。多い方が良い。	△母分は大きい方が良い。	△母分は大きい方が良い。
施設Q ○ 6~7割が駅での来館である。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は多い。多い方が良い。	△運営は多い。多い方が良い。	△母分は大きい方が良い。	△母分は大きい方が良い。

#### 4.3 劇場法的要因

- 劇場法的要因についての主な意見を以下の表にまとめた(表6)。
- 「自主事業を行っている」だけではなく、他施設との差別化を行い、質の高い事業を行うことが可能である。
  - 「利用者のニーズに対応する」ことは、利用者の満足度を高めること、地域特性に合った自主事業を行うことに関係する。

表6 ハーリング調査結果(劇場法的要因)

施設名	主な事業	利用者ニーズ	教育機能との連携	地域団体との連携	他の文化施設との連携	芸術団体との連携	国・地方自治体との連携	専門的な人材の育成
施設A ○ 住む場所や駅の位置が主に問題にあ り。また、駅の位置がいいのはそれは ほんと運営がいいことになる。	○ターゲットは若いといつてはいるが、一方向け ては運営が悪いといつてはいる。	○一緒にに行っていることはない。	○本事務や路線沿線会議(手伝い、連携、 連絡など)と連携がある。	○現在はない。昔も県体で連携があつたの で、今の市を組り合っていった。	○新路線委員会や地域文化振興事業と連携 しているが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○より専門的な人材確保ではまだと思って いる。また、運営スタッフの方にはサイン イメージが悪い。	○より専門的な人材確保ではまだと思って いる。また、運営スタッフの方にはサイン イメージが悪い。
施設B ○ 住む場所がええほか、ホタルの特色と考 えたりピーナッツにいることが多い。	○その通りである。	○その通りである。	○その通りである。	○内閣の人の目止まよさぬ花火(ボルダ ターなど)をしていくことが課題であ る。	○地主と連携していなかった。	○地主と連携していなかった。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設C ○ 住む公演はあまりなく、東に向いた部 分で行っている。フルオーケストラ、文楽座と共 に運営が続いている。	△マイナーニーズには満足なく対応している が、運営の運営のいいさのニーズには対 応していない。	○その通りである。学校に訪問してWSSや インターンシップの受け入れなど。	○その通りである。運営と連携していなかった。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。
施設D ○ 授業料を有利にすることで共同事業者のガラー ーを増やす。	○事業を行なうことで、意向調査を行なってい る。結果のやや重い時期などを聞いてい る。	○クラスマスクサポートを行なう小学校の要 求を聞く。	○クラスマスクサポートを行なう小学校の要 求を聞く。	○現在は多くの店舗の50%のルールと住み 込みができる。	△分かれできている。1.5km圏内がルールと住み 込みができる。	△分かれできている。1.5km圏内がルールと住み 込みができる。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設E ○ パブリックシアターと並殖田、諫早、フリーライブ、音楽座、文楽座と共 に運営が続いている。	△いつも運営のペースで2月間で3000人 参加する。	△タケト花火や花火大会、実行に際 しては花火大会の運営と連携する。	△タケト花火や花火大会、実行に際 しては花火大会の運営と連携する。	△内閣多様な各種の施設や劇場、ミュ ージカル、演劇等と連携していなかった。	△事業を行なうことで、芸術団体と連携を取 り組んでいく。	△事業を行なうことで、芸術団体と連携を取 り組んでいく。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設F ○ 言葉で運営を始めると運営がはじま る。	○運営の運営のいいさのニーズには対応していない。	○その通りである。	○その通りである。	△運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設G ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設H ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設I ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設J ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設K ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設L ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設M ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設N ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設O ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設P ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。
施設Q ○ その通りである。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△施設の便、駅の便どちらも良い。	△運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営は全くない。運営の運営のいいさのニ ュースには対応していない。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。	○運営者や地元の文化振興事業と連携して いるが、運営もしてもらっている。

#### [謝辞]

ご協力していただきました、全国の公立文化ホールの皆様に厚く御礼申し上げます。なお、本研究は平成29年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)「公立文化ホールを長期使用するための方策構築に関する研究」(課題番号:17K06725) (研究代表者:勝又英明(東京都市大学))を得て実施されました。本研究は、佐々木啓介さん、玉井宏典さんとの共同研究です。

#### [参考文献]

- 1) 高橋里菜、玉井宏典、勝又英明:公立文化ホールにおける活性化に関する研究(ヒアリング調査による)-公立文化ホールの長期使用に関する方策構築に関する研究(その4) -日本建築学会大会学術講演梗概集、2019年9月
- 2) 玉井宏典、高橋里菜、城所友莉奈、勝又英明:公立文化ホールにおける活性化に関する研究-公立文化ホールの長期使用に関する方策構築に関する研究-日本建築学会関東支部研究報告集2019年3月

\*1 東京都市大学大学院総合理工学研究科建築・都市専攻修士課程

\*2 東京都市大学工学部建築学科教授・博士(工学)